



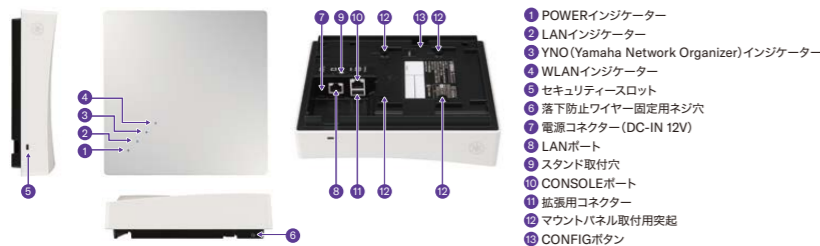
見える。
つなぐ。
ヤマハ。

WLX333/WLX232仕様表

項目	WLX333	WLX232
LANポート (RJ-45)	1ポート(100BASE-TX/1000BASE-T/2.5GBASE-T/5GBASE-T/10GBASE-T、ストレート/クロス自動判別)	1ポート(100BASE-TX/1000BASE-T/2.5GBASE-T、ストレート/クロス自動判別)
コンソールポート (設定用)	1ポート(RJ-45) (※3)	
拡張用ポート	1ポート	
内蔵Flash ROM	8GB eMMC+16MB ファームウェア:1組、コンフィグ:1組	
内蔵RAM	2GB	
アンテナ	2.4GHz/5GHz共用アンテナ2本、6GHzアンテナ2本、DFSSキャン用アンテナ1本 合計5本を本体に内蔵	2.4GHz/5GHz共用アンテナ2本、6GHzアンテナ2本 合計4本を本体に内蔵
MIMO方式	2.4GHz帯: MIMO (2×2.2ストリーム) 5GHz帯: MIMO (2×2.2ストリーム) 6GHz帯: MIMO (2×2.2ストリーム)	
2.4GHz帯 無線LAN規格	IEEE 802.11b/g/n/ax/be	
5GHz帯 無線LAN規格	IEEE 802.11a/n/ac/ax/be	
6GHz帯 無線LAN規格	IEEE 802.11ax/be	
周波数帯 同時利用	2.4GHz/5GHz ○、2.4GHz/6GHz ○、5GHz/6GHz ○、2.4GHz/5GHz/6GHz ○	2.4GHz/5GHz ○、2.4GHz/6GHz ○、5GHz/6GHz ×、2.4GHz/5GHz/6GHz ×
5GHz帯 対応周波数帯	W52/W53/W56 (144ch対応) ※W52/W53は電波法により屋内使用に限る	
アクセス方式	インフラストラクチャーモード、WDSリピーターモード※、WDSブリッジモード ※2.4GHzおよび5GHzでのみ利用可能	インフラストラクチャーモード、WDSリピーターモード※ ※2.4GHzおよび5GHzでのみ利用可能
接続端末数	6GHz帯:最大100台、5GHz帯:最大100台、2.4GHz帯:最大70台、合計270台	6GHz帯:最大100台※、5GHz帯:最大100台※、2.4GHz帯:最大70台、合計170台 ※5GHzと6GHzは切り替えて利用
認証方式	オープン、Enhanced Open、WPA/WPA2/WPA3パーソナル、WPA/WPA2/WPA3エンタープライズ	
暗号化方式	CCMP (AES)、TKIP、WEP (64bit/128bit) ※、192-bitセキュリティモード ※無線モードがIEEE 802.11beの場合は使用不可	
マルチSSID	6GHz帯:最大8個、5GHz帯:最大8個、2.4GHz帯:最大8個、合計16個まで	
セキュリティ機能	AP間プライベートセパレーター、Any接続拒否、MACアドレスフィルタリング (1VAPあたり最大256件)、パスワード設定、接続台数制限、送信出力調整機能、ステルスSSID、MAC認証機能、アクセス制御機能	AP間プライベートセパレーター、Any接続拒否、MACアドレスフィルタリング (1VAPあたり最大256件)、パスワード設定、接続台数制限、送信出力調整機能、ステルスSSID、MAC認証機能、アクセス制御機能、WPS
LAN	タグVLAN (IEEE 802.1Q) ○	
管理プロトコル	SNMP (v1/v2c/v3)	
ファームウェアの更新	TFTPからのリビジョンアップ、Web GUIからのHTTPまたはローカルファイル指定によるリビジョンアップ/リビジョンダウン、YNOからのリビジョンアップ	
内蔵RADIUSサーバー	最大1,000件、EAP-PEAP (MSCHAPv2)、EAP-TLS、MACアドレス、接続SSID制限対応	
外部RADIUSサーバー対応	EAP-TLS、EAP-TTLS/MSCHAPv2、PEAPv0/EAP-MSCHAPv2、PEAPv1/EAP-GTC、EAP-SIM、EAP-AKA、EAP-AKA Prime、EAP-FAST	
クライアント証明書発行	○ (オプション動作のみ)	
ロギング機能	内部メモリーに蓄積 (50,000件)、SYSLOGでの出力	
設定手段	コンソール、TELNET、Web設定画面、Web設定画面 (HTTP/TFTPによるダウンロード/アップロード、ヤマハルーターのWeb GUI/コマンドによるバックアップ、YNO	
GUIの推奨ブラウザ (※1)	Windows: Microsoft Edge、Google Chrome、Mozilla Firefox、macOS: Safari、iOS: Safari	
機能	QoS (WMM [Wi-Fi Multimedia])、DHCP クライアント、DHCP サーバー、メール通知機能、NTP クライアント	
L2MSエージェント (※2)	L2MSマネージャー (※4)のWeb GUI/コマンドによる設定/状態表示/管理、ネットワーク構成表示、コンフィグの保存/復元、ゼロコンフィグ機能	
拡張機能	Radio Optimization機能、Wellness OnStage (※5)、クラウド型管理サービス (YNO) 対応、クラスター管理機能 (管理可能台数は最大128台、スタンドアロンモード対応) (※6)、範囲指定型自動チャンネル選択機能、自動チャンネル変更機能、電波出力自動調整機能、LAN-無線連動機能、無線通信平滑機能 (エアタイムイコライザー)、ハンドステアリング機能、災害時モード切替機能、キャプティブポータル機能、かんたん接続QRコード生成機能、VAPグループビング機能、Fast DFSv2機能、適応型ローミングアシスト機能、ローミングアシスト機能 (IEEE 802.11k/v)、高速ローミング機能 (IEEE 802.11r)、接続分散機能 (IEEE 802.11k/v)	Radio Optimization機能、Wellness OnStage (※5)、クラウド型管理サービス (YNO) 対応、クラスター管理機能 (管理可能台数は最大128台、スタンドアロンモード対応) (※6)、範囲指定型自動チャンネル選択機能、自動チャンネル変更機能、電波出力自動調整機能、LAN-無線連動機能、無線通信平滑機能 (エアタイムイコライザー)、ハンドステアリング機能、災害時モード切替機能、キャプティブポータル機能、かんたん接続QRコード生成機能、VAPグループビング機能、適応型ローミングアシスト機能、ローミングアシスト機能 (IEEE 802.11k/v)、高速ローミング機能 (IEEE 802.11r)、接続分散機能 (IEEE 802.11k/v)
状態表示インジケータ	天面: 4 (POWER、LAN、YNO、WLAN)	
動作環境条件	周囲温度 0~50°C、周囲湿度 15~80% (結露しないこと)	
最大消費電力	23W	15W
最大消費電流	電源アダプター (DC12V): 1.7A (※7)、PoE (IEEE 802.3at準拠 DC54V): 0.42A	電源アダプター (DC12V): 1.1A (※7)、PoE (IEEE 802.3at準拠 DC54V): 0.27A
発熱量	電源アダプター (DC12V): 75.6kJ/h、PoE (IEEE 802.3at準拠 DC54V): 82.8kJ/h	電源アダプター (DC12V): 46.8kJ/h、PoE (IEEE 802.3at準拠 DC54V): 54kJ/h
筐体	上面: プラスチック、底面: アルミダイキャスト、ファンレス	
電波障害規格、環境不可物質管理	VCCIクラスA	
外形寸法	210 (W) × 56.6 (H) × 210 (D) mm (突起部含まず) ※壁掛け、天井設置、卓上スタンド設置、VESA規格スタンド取付、スイッチボックス取付が可能	190 (W) × 55.6 (H) × 190 (D) mm (突起部含まず) ※壁掛け、天井設置、卓上スタンド設置、VESA規格スタンド取付、スイッチボックス取付が可能
質量	本体1.2kg (付属品含まず)、マウントパネル105g、スタンド13g、ケーブルチューブ3g	本体0.9kg (付属品含まず)、マウントパネル105g、スタンド13g、ケーブルチューブ3g
付属品	はじめにお読みください (保証書含む)、同梱品: トラシ、マウントパネル、スタンド、ケーブルチューブ、CONSOLEポート用ダストカバー、拡張用ポート用ダストカバー	
オプション	電源アダプター (YPS-12V4A)、PoEインジェクター (YPS-PoE-BT)、RJ-45コンソールケーブル (YRC-RJ45C)	電源アダプター (YPS-12V4A)、PoEインジェクター (YPS-PoE-AT)、RJ-45コンソールケーブル (YRC-RJ45C)
デフォルトIPアドレス	DHCP自動取得 ※取得失敗時は192.168.100.240/24	

(※1) ブラウザーのバージョンは、最新バージョンにてご利用いただくことを推奨します。また、最新のWebブラウザ対応状況は、技術情報 (RTpro) サイトにて公開しております。(※2) L2MS (Layer2 Management Service) は、ヤマハネットワーク機器をレイヤー2レベルで管理する機能です。(※3) 別売りのRJ-45コンソールケーブル YRC-RJ45C をご使用ください。(※4) L2MSマネージャーに対応しているルーター/ファイアウォール/スイッチが別途必要です。L2MSマネージャー対応機種は、技術情報 (RTpro) サイトにて公開しております。(※5) 2026年秋以降リリースのファームウェアで対応予定です。(※6) クラスター管理機能は、同じL2ネットワークに接続されている複数台の無線LANアクセスポイントを一元管理するためのシステムです。詳細は、技術情報 (RTpro) サイトにて公開しております。(※7) 必ず別売りの電源アダプター YPS-12V4A をご使用ください。

各部名称 (WLX333/WLX232共通)



- 1 POWERインジケータ
- 2 LANインジケータ
- 3 YNO (Yamaha Network Organizer) インジケータ
- 4 WLANインジケータ
- 5 セキュリティスロット
- 6 落下防止ワイヤー固定用ネジ穴
- 7 電源コネクタ (DC-IN 12V)
- 8 LANポート
- 9 スタンド取付穴
- 10 CONSOLEポート
- 11 拡張用コネクタ
- 12 マウントパネル取付用突起
- 13 CONFIGボタン

関連オプション/製品

電源アダプター
YPS-12V4A

PoEインジェクター
YPS-PoE-AT

PoEインジェクター
YPS-PoE-BT

品名	品番	希望小売価格 (税込)	発売時期
電源アダプター	YPS-12V4A	12,100円	2026年6月
PoEインジェクター	YPS-PoE-AT	19,800円	発売中
PoEインジェクター	YPS-PoE-BT	42,900円	発売中

安全に関するご注意 ● 本製品の設置、ご使用に関しましては取扱説明書などに記載されている注意事項や禁止事項をよくお読みの上、必ずお守りください。

●本製品の日本国外での使用については一切のサポート、保証をいたしません。●このカタログの記載内容は2026年6月現在のものです。●仕様は予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。●価格には本体設置費用は含まれておりません。●本カタログに記載されている会社名、製品名は一般に各社の登録商標あるいは商標です。

ヤマハネットワーク製品お客様相談センター

■お電話によるお問い合わせ先 ☎ **050-3537-7701** ご相談受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00 (土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。)

◎ヤマハネットワーク機器に関する詳細な情報はホームページをご覧ください。 <https://network.yamaha.com/>

お問い合わせ先



ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町10-1
2026年6月作成

カタログコード MWLX33301

2026年7月発売予定

Wi-Fi 7対応 無線LANアクセスポイント **NEW**

WLX333 / WLX232

希望小売価格(税込) 237,600円

希望小売価格(税込) 190,300円

運用も、空間も、新しい体験へ。



Wi-Fi 7がもたらす、次世代の無線LAN体験

最新の無線通信規格「Wi-Fi 7」に対応

クラウド利用やオンライン会議が常態化した今、無線LANには「速さ」だけでなく「混雑下でも安定して使えること」が求められています。2.4GHz帯/5GHz帯に加え、干渉の少ない6GHz帯が利用でき、通信トラフィックの多い環境下でも高速で安定した通信が可能です。

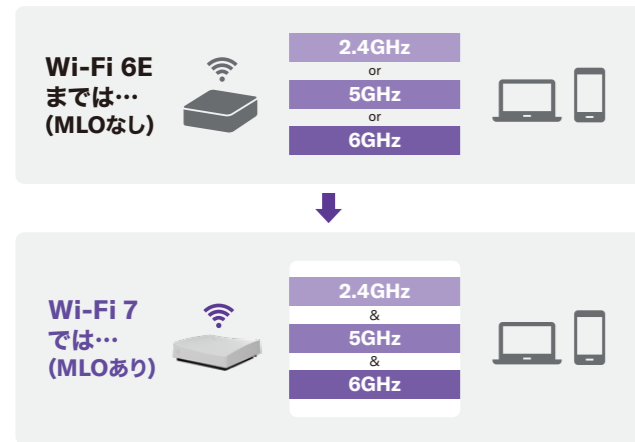


Wi-Fi 7で変わる、混雑時の通信品質

多数の端末が接続されるオフィスや教育機関、来訪者向けWi-Fiを提供する店舗・施設などの混雑時でも、無線通信の業務利用において快適な通信環境を構築可能です。

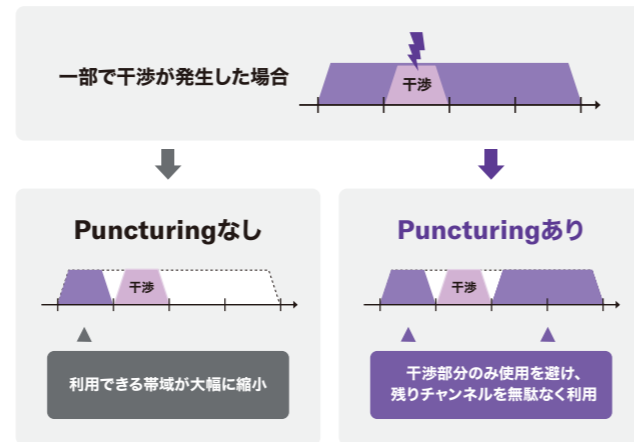
MLO (Multi-Link Operation)

複数の周波数帯を同時に利用でき、通信状況に応じて最適な経路を柔軟に使い分け。通信の遅延や途切れを抑え、オンライン会議やクラウド利用時の快適性を向上させます。



Preamble Puncturing

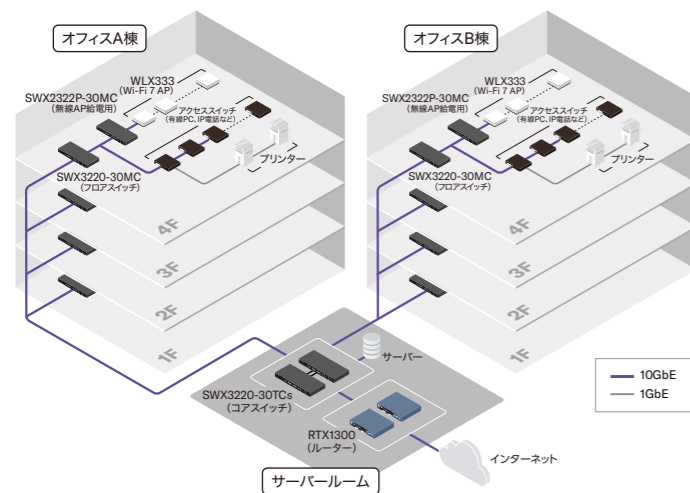
電波干渉のあるチャンネルを避けて効率的に通信が可能。一部の周波数帯に干渉がある環境でも、チャンネル全体を無駄なく活用でき、実効スループットを向上できます。



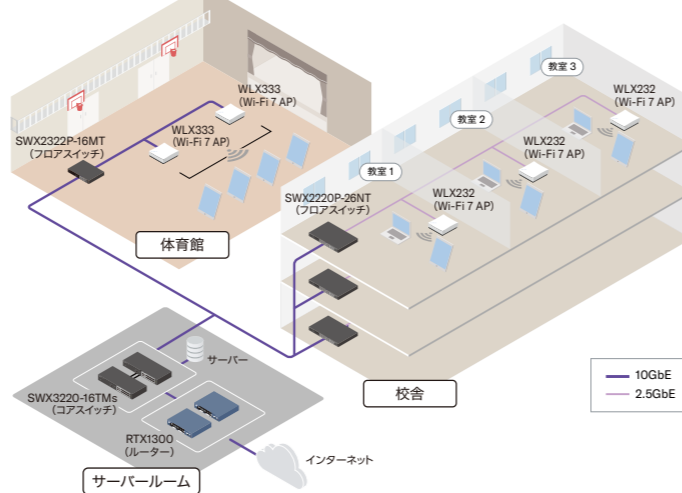
高密度な環境でも「繋がり続ける」

無線端末の移動や電波状況だけでなく、無線APごとの接続端末数や利用状況を考慮し、より快適に通信できる無線APへ誘導します。また遠くの無線APに接続し続けてしまう無線端末を抑制し、特定の無線APへの負荷集中を防ぐことでネットワーク全体の品質を安定化。多台数・高密度環境で真価を発揮します。

●構成例：中規模オフィス



●構成例：学校



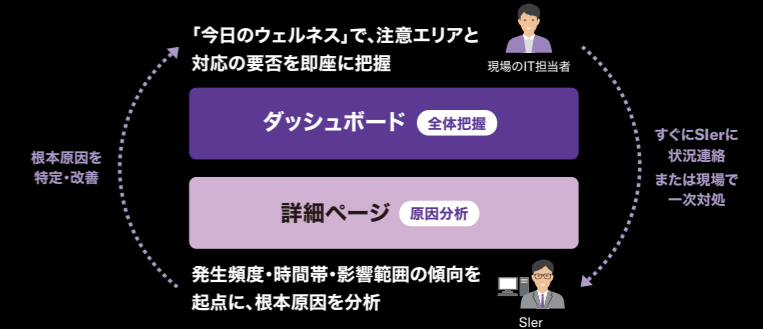
ネットワーク運用をもっとやさしく

新しい無線LAN運用支援ツール「Wellness OnStage」※

無線LANの「何が起きているかわからない」を解決するために、「無線LAN見える化ツール」を刷新。「機器の状態」から「業務への影響」を起点に状況を捉えることを重視した、新しい無線LAN運用支援ツール「Wellness OnStage」を搭載。

※2026年秋以降リリースのファームウェアで対応予定

Wellness OnStage トラブル解消までの時間を最小に!



空間の価値を高める新デザイン

「隠す」から「見せる」へ

近年、働き方の変化およびオフィス・店舗など働く環境への意識の高まりに伴い、「空間そのもの」が持つ価値が重視されています。これまで天井裏などに「隠す設備」だった無線APを、機能性と空間調和を両立した「空間の価値を高める存在」に昇華。無線性能を最大化するアンテナ配置を起点に、内部構造と筐体意匠を一体で設計。薄く洗練されたフォルムで現代的な空間デザインに自然と調和する、機能美あふれる業務インフラを実現しました。

設置性・安全性の向上

天井や壁の種類を問わない高い設置性を維持しつつ、スイッチボックス設置にも新対応。本体構造と取付金具 (WLX333/WLX232共通・同梱) を改良し、LANケーブルの配線取り回しも改善。また、落下防止ワイヤーを無線AP本体へ直接取付できるため、安全性にも配慮いただけます。

